

# 地域学校協働活動推進員 活動報告

佐山地域担当 重 富 義 彦

昨年、佐山小学校開校150周年を迎えました。

今回の活動は、佐山小学校開校150周年に向けて、佐山の皆さんに感謝の気持ちを伝えるメダル作りを企画し、作成したことを報告します。

10月9日・10日の昼休みに、30名近くの支援して下さる地域の皆さんにお手伝いをいただき、児童46名が日頃お世話になっている佐山の皆さんに「いつも見守ってくれてありがとう」「いつまでも元気でがんばってください」など、自分の思いや感謝の気持ちを考え、文字や絵で一枚一枚丁寧にメダルを作りました。

250個のメダルを作り上げ、11月2日『佐山地区ふるさとまつり』、11月8日『佐山小学校開校150周年記念式典』で配布しました。

佐山の皆さんに喜んでいただき、児童たちもとても満足そうでした。



## クリスマスイルミネーションをつくったよ!

佐山地区地域づくり協議会文化体育部会

佐山地域交流センターをイルミネーションで飾り付けるために私たちも頑張りました!

### ◆やってみた感想◆

初めての経験で最初は上手くできるか不安でしたがやっていくうちに熱中していました。腰が痛かったけど、完成して明かりが灯っているのを見て、嬉しく、感動しました。また機会があったら色々作ってみたいです。



## 編集後記

来年度もワカビトと共に新しいことにチャレンジしていきたいと思います。こういうことがしたい! などのご意見がありましたら、お気軽にお声がけくださいね!

# 希 望 の ひ ろ ば

令和 8 年 3 月 発 行

佐 山 地 区 青 少 協 だ よ り 第 6 0 号

佐 山 地 区 青 少 年 健 全 育 成 連 絡 協 議 会

## 「まあ、良いか」で気楽に考えて

佐山地区青少年健全育成連絡協議会  
会 長 山 田 貴 弘

「まあいいか」と気楽に考えることは、心を軽くしてくれる大切な習慣です。完璧を求めすぎると、ちょっとした失敗や予定のズレにも落ち込みがちですが、「まあいいか」と肩の力を抜いてみると、意外と物事はうまく転がっていきます。すべてを完璧にこなす必要はなく、むしろ多少のゆるさがあるほうが、心の余裕につながります。日々の小さなつまづきや迷いに対しても、「まあいいか」と受け流すことで、自分自身を責めすぎず、前向きに気持ちを切り替えることができます。気楽に構えることは怠けることではなく、自分を大切にするための知恵です。ときには深呼吸をして、「まあいいか」と心の中でつぶやき、ゆとりを持って一歩ずつ進んでいきましょう。



## たくさんゴミを拾ったよ!



## ごみひろいウォーキングを実施しました

11月16日(日)に「ごみひろいウォーキング」を行いました!地域のこども、大人、川西中ボランティアきずなの総勢27人が参加しました。佐山地域交流センターをスタートし、新地の海まで約10kmのコースでしたが、ごみを拾いながら全員無事踏破!ウォーキング後には豚汁を食べて温まりました。



おいしかった豚汁♪



【写真】当日の様子

# 防災デイキャンプをしたよ!

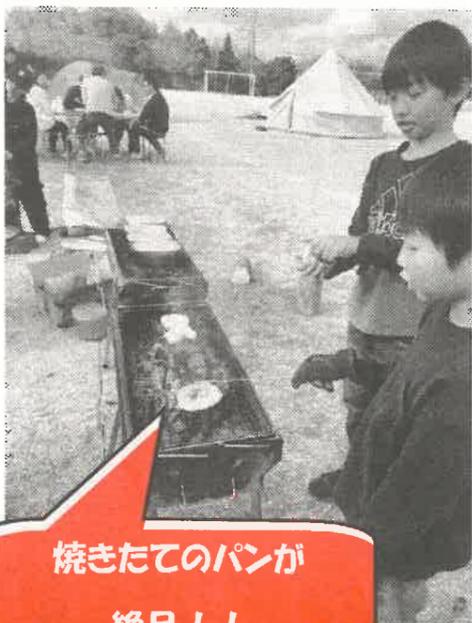
佐山地区コミュニティスポーツクラブ

12月7日(日)、佐山小学校グラウンドにて、参加費300円(1家族食事代込み)で防災デイキャンプを行いました。「防災」としてはありますが、あくまでも楽しく、キャンプみたいなことをやることで防災時にも役立つのではないかと思います、企画実行してはや3年が経ちます。コミスポ主催で行っていますが、例年ホビークラブと同時開催をしており、さやまエコビレッジの方にもお手伝いいただき楽しく行うことができました。参加者は小学生11名、保護者6名でした。

飯ごう炊飯、ファイヤースターター(金属の棒をこすって火花を起こすもの)を使った火起こし、テント立て、ロープの結び方、モルック(ニュースポーツ)をして、お昼ご飯はホビークラブの参加者とも美味しいカレーを食べました。また、保護者の方が自宅でパンの生地を仕込んで持ってきてくださり、これも絶品でした!!!



交流センターのテント



# ワカビトの輪 No. 7



## ワカビトの輪とは?

佐山小学校出身の20歳前後の方にいくつかの質問に答えてもらい、これをリレー形式で繋げていき、後輩の皆さんの今後の人生の参考に、過去に関わったことがある方はなつかしさに浸っていただく、そんな企画です。

### Q1: 名前

松永 拓海

### Q2: 現在の職業

宇部工業高等専門学校

### Q3: バトンを受けて

(ワカビトの輪No. 6の執筆者) 悠人くんとは小学校から今まで同じ学校です。中学校から一緒にソフトテニスをしていて、試合の時はペアを組んで出ています!

### Q4: 最近の推し

テラリアというゲームです!  
自由度が高く、何をするかを仲間と一緒に話し合いながら進めるのがとても楽しいです。友達と遊ぶのにちょうど良いゲームだと思います!

### Q5: 学生の頃の失敗・恥ずかしかった思い出

中学生の時に体育祭実行委員をしていたのですが、徒競走のピストルの練習で、「位置について、よい、どん!」と口で言ったあとに、パンッとピストルを打ったことです。他の体育祭実行員や先生は笑っていましたが、当時の僕は恥ずかしさでいっぱいでした。

### Q6: 学生の頃の楽しい・面白かった思い出

中学生の頃、毎週のように休みの日に河原谷公園へテニス部のみんなでテニスをしに行ったことです。ギリギリ佐山なので、皆さんもぜひ行ってみてください!

### Q7: 後輩達へ

失敗したことは記憶に残りやすいですが、その一つ一つが大切な経験になると思います。僕もこれまでの色々な経験を通して、少しずつ成長できていると感じています。大変な時もあると思いますが、無理をしすぎず自分のペースで頑張ってください。応援しています!

### Q8: 次のバトン相手

次は野村恭平くんです。高校は違いますが今でもたまに一緒に勉強したりランニングをしたりしている友達です!



【写真】左:松永拓海さん

## 26年度より本格始動！

# 若者人財育成事業 「Y's connectプロジェクト」 とは？

佐山地区青少年健全育成連絡協議会 会長 山田 貴弘

### 1. 事業の背景・目的

近年、AIの普及により、一部の仕事はAIやロボットに代替されつつあります。AI時代に求められるスキルとして、「創造性・企画力・コミュニケーション能力・問題解決能力」等、「考える・決める・人と関わる」スキルの重要性が増えています。

本事業では、高校生から20歳代までの若者が主体となり、「やってみたい」「挑戦してみたい」という思いを地域全体で応援・支援する環境づくりを行います。

まずは「若者が若者」と繋がって広がっていき、その後「若者と地域の大人」が繋がり関わりながら学び、経験を積むことで社会的スキル及び将来の佐山地域を担う人材の育成につなげることを目的としています。

### 2. 事業内容（概要）

取組内容	説明
若者のチャレンジ支援	若者自身の「やってみたい」という思いやアイデアを尊重し、若者が主体として具体的な活動を行う中で、地域で応援・支援しながら実現していく
地域との関わりづくり	地域行事や活動への参加を通して、若者と地域住民が顔の見える関係を築きます（地域外に進学・就職した若者も対象）
学び・成長の場づくり	体験や学びの機会を通して、若者の成長や自立につながる場を整えます
運営体制の整備	事業を安定して継続するため、運営組織や情報共有の仕組みを整えます

### 3. 保護者の皆さまへ

この事業は、単なるボランティア活動ではなく、**若者が地域の中で人と関わり、考え、行動する経験を積むこと**を大切にしています。学校や家庭とは異なる地域での経験は、

- ・自分の考えを伝える力、多様な世代と関わる力、社会性や責任感

を育てる貴重な機会になります。地域全体で若者を見守り、支えていくことで、安心して参加できる環境づくりを進めていきます。

#### ○実施主体・協力団体

佐山地区青少年健全育成連絡協議会、山口市青少年指導員（佐山地区）

川西中学校ボランティアサークル「きずな」



**若者大募集！近日案内文発行予定。**

## ふるさとまつりではこんなことをやっています！

### ◆ブース出店◆

青少協では、ふるさとまつりでブース出店する中学生～大学生までのグループを募集したところ、2グループの挑戦希望がありましたのでブースを出店しました！

#### ①中学生のグループ：ドリンク販売

・飲料水の販売を行いました。あまり売れなかった。次はどうやったら売れるか考えながらやっていきたい。

・お客さんが楽しんでくれるようなゲームの方が良いかなと思いました。

・楽しく出来て良かった。

・同じ役員の友達からの指示をしてくれないと行動できなかった。次回は自分から行動出来たら・・・と思いました。

#### ②大学生のグループ：ベビーホタテ販売

・何が売れそうかを想定して準備はしていましたが、売り物が見えなかったことで集客は全然出来なかった。今度は、売り物がお客さんに見えて買ってくれるように工夫したい。



### ◆佐山地区青少年ハートも満タン運動◆

青少協では、他の青少年の見本となる善行を行った20歳未満の青少年（グループも含む）に対し、毎年ふるさとまつりで表彰する「佐山地区青少年ハートも満タン運動」を実施しています。

【令和7年表彰者】

**本間 奏佑** さん（高校1年生）

本間さんは、令和6年度（当時中学校3年生）に、国道沿いにて、自転車走行中に横転した女性を助けました。



# 佐山地区子ども会活動報告

## ◆鳩岡/遠波◆

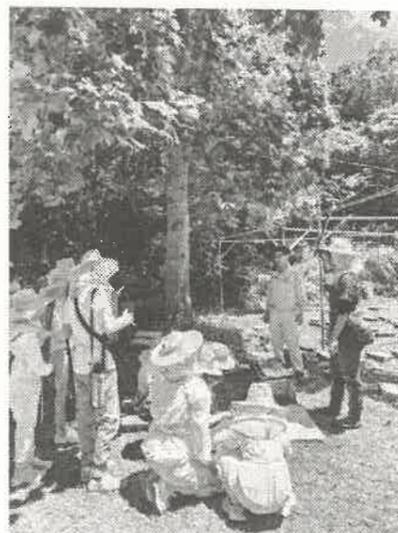
2025年5月3日 子供神輿 子供達が頑張って神輿を担ぎ町内を回りました。



## ◆須川◆

2025年7月21日

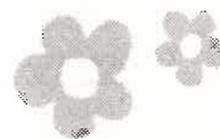
ときつ養蜂園見学 初めての体験で色々なことを学び、良い経験ができました。



## ◆小路◆

2025年11月15日

花壇の苗植え 子どもたちと協力して植えることができました。



## ◆新地◆

2025年12月14日

日曜日に新地公会堂でクリスマス会開催 毛糸でトナカイのオーナメントとクリスマスリースを作り、最後にビンゴをしました。子どもの交流と親同士の親睦もできました。



## ◆由良/佐山西/佐山東◆

2026年1月25日

由良、佐山西、佐山東でいちご狩り合同開催 他の地区と楽しくできて良かったです。



## ◆渚◆

2026年1月26日 いちご狩りを実施しました。



## ◆佐山ハビテーション◆

2026年3月8日(予定) いちご狩りを実施する予定です♪